

企画展 画人大名

池田継政

平成22年12月1日(水) — 平成23年1月16日(日)



- 開館時間 9時-17時(入館受付は16時30分まで)
月曜日休館(祝日の場合は翌日。ただし12月27日(月)~1月4日(火)までは、年末年始のため休館いたします。)
- 入館料 一般300円 高校生200円
小・中学生無料 友の会会員無料
団体(20名様以上)、シルバーカード提示の方2割引
障害者手帳提示の方・付添者・引率者 無料
- 主 催 財団法人 林原美術館
- 後 援 岡山県郷土文化財団
- ギャラリー トーク 毎週土曜日 14時から
(ただし、12月11日(土)はスペシャルギャラリートークを開催します。)

林原美術館

〒700-0823 岡山市北区丸の内2-7-15 TEL(086)223-1733
<http://www.hayashibara-museumofart.jp>

企画展 画人大名 池田 継政

第三代岡山藩主の池田継政（1702～1776）の特色は、歴代の大名の肖像画を描いたように、すぐれた絵の才能を持っていたことです。正徳四年（1714）から三十八年間にわたって岡山藩政を運営し、儒学や仏教、古典、和歌などに通じた教養豊かな人物です。

継政は、初代岡山藩主で祖父にあたる池田光政（1609～1682）の画像をいくつも描いています。光政といえば必ず思い浮かべる、ドングリ眼でアバタ顔の光政の面貌は、実は継政の夢に現れた光政の姿を描いたもので、彼の創作物なのです。光政以外にも、継政は自らの系譜につながる清和源氏の祖の貞純親王をはじめとし、源経基、頼光、頼政、池田恒利、恒興、輝政など多くの肖像画を制作しました。このように継政は、祖先歴代の肖像画を積極的に制作することで、池田家の歴史を新しく作り上げた藩主といえるでしょう。

本展では、これらの肖像画をはじめ、父綱政が継政誕生を祝って継政実母の栄光院に与えた和歌、継政が栄光院の七十歳を賀して贈った鳩杖、継政が嫡男宗政の婚礼を祝して詠んだ和歌などの継政の親族にまつわる品々や、約二十年に及ぶ御側日記を初公開し、これまで明らかになっていない池田継政の実像に迫ります。

（監修 川崎医療福祉大学特任教授 神原邦男氏）



徳川家光画像（徳川家康・秀忠・家光画像三幅のうち）
池田継政筆



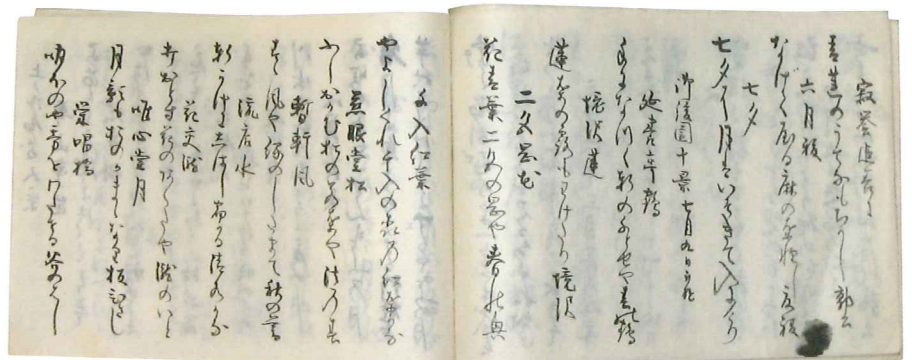
池田光政画像 池田継政筆



鳩杖



香合
池田継政作



御詞書・御発句（御側日記）寛保元年七月九日「御後園十景」

林原美術館

HAYASHIBARA MUSEUM OF ART

〒700-0823 岡山市北区丸の内2-7-15 TEL(086) 223-1733 FAX(086) 226-3089

http://www.hayashibara-museumofart.jp

*車椅子対応の設備あります。

交通/JR岡山駅から徒歩25分/路面電車〔東山行〕県庁通下車徒歩7分

岡電バス〔岡電高屋行〕県庁前下車徒歩3分

宇野バス〔瀬戸駅前行・四御神行〕県庁前下車徒歩3分



次回予告

企画展「雛の道具」

平成23年2月1日(火)～3月21日(月)

備前池田家の姫君達の雛の道具をご紹介します。豪華な蒔絵の雛道具から、実際の「ひいなあそび」の道具まで、どれも楽しく可愛らしいものばかりです。女子の健やかな成長を願いつつ、ご鑑賞くだされば幸いです。